

令和8年度

地域からゼロカーボンを考える

気候変動への対策が世界全体の大きな課題となっています。2050年までに脱炭素社会を実現するためには、住民、事業者、行政などあらゆる主体が一丸となり社会全体で取り組むことが不可欠です。特に脱炭素化に向けた再生可能エネルギー等新たな地域資源の活用は、地域経済の循環にもつながり、地域の持続可能性を高める取組として期待されています。

この研修では、講義や自治体の事例紹介を通じて、地域資源を活かした再生可能エネルギー等の活用や課題について学ぶほか、演習により地域の特性や課題を踏まえた脱炭素化の方策を考え、地域の脱炭素化推進を担う人材の育成を目指します。

研修のポイント

- 脱炭素社会に向けて自治体に取り組む意義や自治体の役割を理解する。
- 住民等のステークホルダーとの合意形成の手法を習得する。
- 地域におけるゼロカーボン地域づくりの進め方を検討し、各自治体の実情に応じた施策展開を考える視点を養う。

開催要領

日程 令和8年10月13日(火)～10月15日(木) (3日間)

場所 全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対象 再生可能エネルギーの活用・見直しを検討している市区町村等の職員

3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。
※議員及び行政と協働実績のあるNPO職員の方も参加可能ですが、本研修は市区町村職員を対象とした研修のため、実務的な内容となっておりますのでご注意ください。各自治体の現状や施策を基に、グループで討議をしていただく時間もあります。また、申込人数によっては受講をお断りすることがありますので、予めご了承ください。なお、議員の方は、必ず議会事務局を通じてお申し込みください。

募集人数 40人 募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。
なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

宿泊 研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

経費 15,350円 左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食2回、昼食3回、夕食2回)、資料代等を含みます。
なお、事前準備・事前学習にかかる費用は含まれておりません。

申込期限 令和8年8月28日(金)まで

申込方法 JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申込みください。
議員の方は、議会事務局を通じてお申込みください。

受講決定 受講の可否については、開講日の約1か月前を目途にメールで通知をお送りします。
経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題 研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定時にお知らせします。

問い合わせ先

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL.077-578-5932

[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] <https://www.jiam.jp>

令和8年

10月
13日(火)

11:00～

入寮受付・昼食

12:30～

開講・オリエンテーション

13:00～14:10

講義 地域脱炭素の展開に向けた国の最新動向

環境省大臣官房地域脱炭素事業推進課 課長 沼田 正樹 氏
脱炭素先行地域の選定が2025年度で終了したことを踏まえた、地域脱炭素政策の最新動向についてご講義いただきます。

14:25～17:00

講義 脱炭素社会に向けた自治体の役割と市民を巻き込む脱炭素化策

芝浦工業大学システム理工学部 教授 磐田 朋子 氏
脱炭素社会の実現に向け、自治体が果たす役割についてお話しいただくとともに、社会心理学・行動経済学の視点から住民参加を促すための方策や地域の特性を生かした脱炭素の取組の実践事例についてご紹介いただきます。

17:00～17:30

意見交換

事前課題の内容を中心に、それぞれの自治体での取り組みや抱えている課題等について意見交換を行います。

18:00～

交流会 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

9:25～9:45

導入講義

特定非営利活動法人 環境エネルギー政策研究所(IEP)主任研究員(理事) 山下 紀明 氏

9:45～10:45

事例紹介 農業振興×脱炭素 ～紫波町が描く持続可能な未来～

岩手県紫波町 産業部地球温暖化対策課 課長 松村 寿弘 氏
地域資源を活かしながら、農業振興と脱炭素社会の実現を目指す紫波町の取組事例をご紹介します。「みくまるっと脱炭素化モデル事業」の立ち上げの経緯や、金融機関等との連携による推進体制の構築、事業を進める上での工夫や成果、現在の取組状況や今後の展望についてお話しいただきます。

11:00～12:00

事例紹介 空き家改修×脱炭素で創るまちなか再生戦略

和歌山県和歌山市 市民環境局環境部脱炭素社会推進課 班長 中村 英人 氏
空き家の有効活用を通じて脱炭素化と地域活性化の両立を目指す和歌山市の取組事例をご紹介します。断熱改修による省エネ化とCO₂排出削減の取り組み、さらに居住・商業利用の促進によるまちなか再生の戦略等をお話しいただきます。

13:00～14:10

講義 地域からゼロカーボンを考える

特定非営利活動法人 環境エネルギー政策研究所(IEP)主任研究員(理事) 山下 紀明 氏
地域の将来像をどのように住民と共有し、参加を促していくのかをはじめ、地域における持続的な再生可能エネルギーの活かし方、ステークホルダー間の合意形成、資金調達、協働、役割分担、先進事例の手法等についてご講義いただきます。

14:25～17:00

演習 地域におけるゼロカーボン推進ストーリーを考える

特定非営利活動法人 環境エネルギー政策研究所(IEP)主任研究員(理事) 山下 紀明 氏
これまでの講義・事例紹介の内容を踏まえ、再生可能エネルギーの導入・活用を進める上での住民等との合意形成や、脱炭素政策における各政策手法について、グループに分かれて検討し、地域におけるゼロカーボン推進ストーリーを考えていきます。

9:25～12:00

演習 地域におけるゼロカーボン推進ストーリーを考える

特定非営利活動法人 環境エネルギー政策研究所(IEP)主任研究員(理事) 山下 紀明 氏
前日に引き続き、自治体における再生可能エネルギー導入に関する演習に取り組みます。その後、各グループから発表を行い、講師より講評をいただきます。

13:00～14:10

総括講義 ふりかえりとまとめ

特定非営利活動法人 環境エネルギー政策研究所(IEP)主任研究員(理事) 山下 紀明 氏
3日間の研修をふりかえり、地域資源を活かした再生可能エネルギー等の活用やその課題についてポイントを整理し、総括的なまとめを行っていただきます。

14:10～14:40

ふりかえり、研修アンケート記入、閉講

令和8年

10月
14日(水)

令和8年

10月
15日(木)